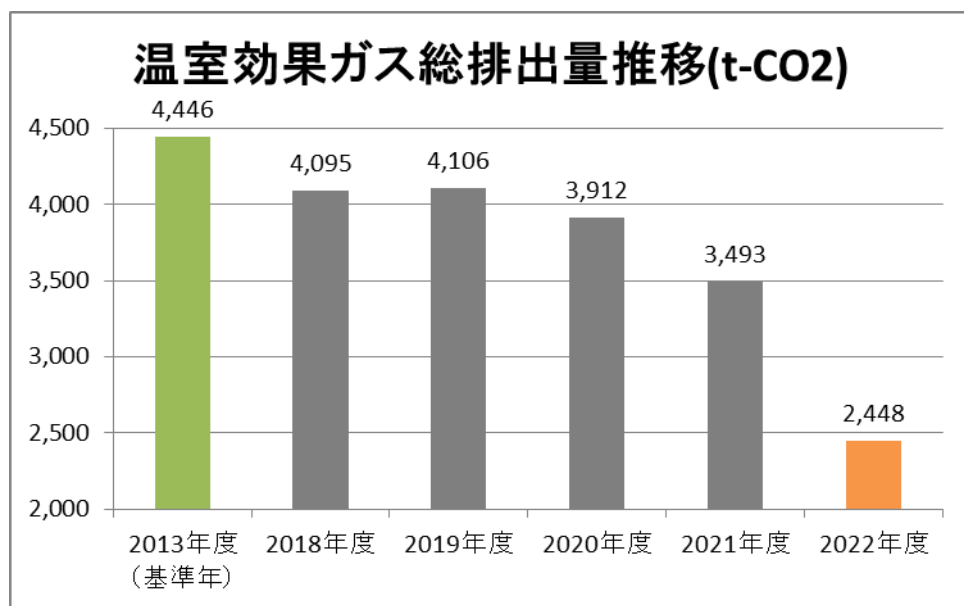


2022 年度温室効果ガス排出状況

2022 年度の温室効果ガス総排出量は 2,448t-CO₂ となり、2013 年度（基準年）比で 1,998t-CO₂（44.9%）減少しました。前年度比では 1,045t-CO₂（37.4%）減少しました。

年度	排出量 (t-CO2)	基準年対比	前年度対比
2013年度 (基準年)	4,446	0.0%	—
2018年度	4,095	-7.9%	-7.9%
2019年度	4,106	-7.6%	0.3%
2020年度	3,912	-12.0%	-4.7%
2021年度	3,493	-21.4%	-10.7%
2022年度	2,448	-44.9%	-37.4%



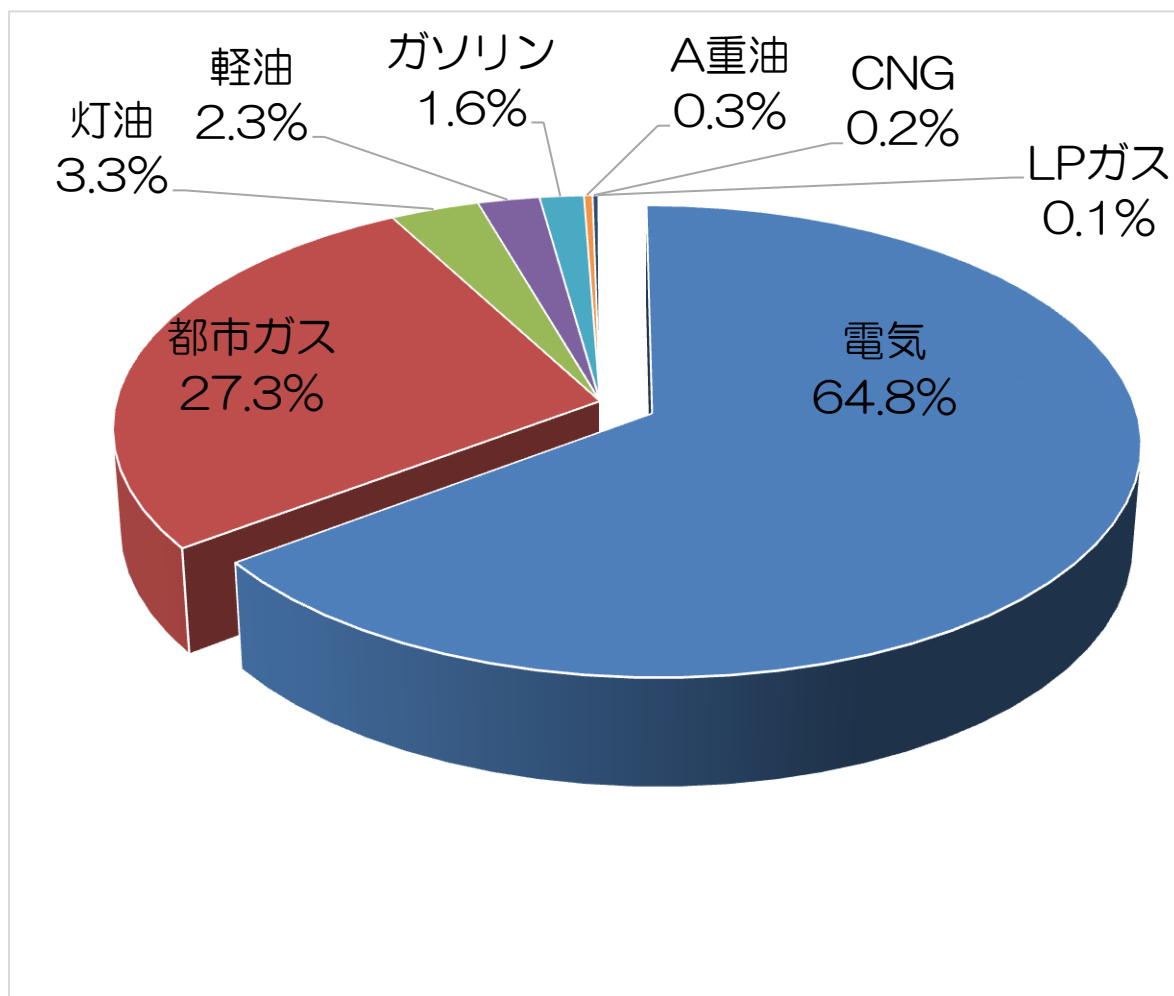
エネルギーの種類別でみると、LP ガス、CNG 以外の7項目において、2013 年度（基準年）比で減少しました。前年度比では、A 重油、都市ガス、電気の3項目で減少しました。

項目		温室効果ガス総排出量(t-CO ₂)						
		2013年度 (基準年)	2021年度	2022年度	基準年比(2013/2022)		前年度比(2021/2022)	
					増減量	増減率	増減量	増減率
燃料	ガソリン	46	37	40	-5.9	-12.8%	2.9	7.1%
	軽油	76	55	56	-20	-26.5%	0.7	1.2%
	灯油	94	81	81	-13	-13.5%	0.3	0.3%
	A重油	16	9.9	7.8	-7.8	-50.1%	-2.1	-26.8%
	LPガス	0.9	1.3	1.4	0.5	52.3%	0.1	10.5%
	都市ガス	726	686	668	-58	-8.0%	-19	-2.8%
	CNG	3.9	4.1	5.2	1.4	34.9%	1.1	20.7%
電気		3,480	2,614	1,585	-1,895	-54.4%	-1,029	-64.9%
CO ₂ 以外の温室効果ガス		3.5	3.3	3.4	-0.1	-3.3%	0.1	3.4%
合計		4,446	3,912	2,448	-1,997	-44.9%	-1,463	-59.8%

※端数処理の関係上、計が合わない場合があります。

温室効果ガス排出量の構成比は、下図の通りです。

電気が全体の 64.8%と最も高く、以下、都市ガス(27.3%)、灯油(3.3%)と続きます。



温室効果ガス総排出量が 2013 年度（基準年）比で減少した要因は、2022 年 10 月より 24 施設において、再エネ 50%を含む電気を供給開始したことが最も大きいと考えられます。

現行計画における 2013 年度（基準年）比で 40%削減という目標は達成できましたが、更なる削減を目指して引き続き、職員・施設管理者による継続的な省エネ活動を推進してまいりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。